

料金後納郵便

OFFICE HARMO INC.

ゆうメール

お仕事、家庭、いろんな場所で、「きっと役に立つ情報?!」をお届けします!

喜田菜穂子の季刊誌 ハーモマガジン 27 秋号 「人を育てる⑤」

自立を育てる習慣 (自立型支援方法) その2

今夏は酷暑だった分、秋の訪れが早かったですね。

我が家の庭にも、山から取ってきて植えた、ほったらかしのアケビがあり、去年初めて一つだけ実がなりました。今年は幾つ実が生るのかとても楽しみです。結実するというのはやはり楽しいものですね。

さて、前々回から改めて私の専門でもある「主体的に生きる自立力」の育て方に入っていますが、今回も少し詳しくお伝えしたいと思います。

■自立を育てる習慣(自立型支援方法)No.2

「自分の思い込みを一旦はずし、そのままの相手をしっかり受けとめる」

私たちは、思い込みで人と付き合うことが多くあります。

特に行動傾向としての見方ではなく、レッテルを貼るように

「この人は○○な環境で育っているのだからそうに違いない」

「この年代の人は、どうせこういふことだ」

組織のなかであれば、

「この人の性格は○○だから言ってもわからない」

「あの人は性格が暗い」「あの人は頭が固い」など。

このように思い込みのレッテルを張ってしまうと、未来への改善には、人間関係で邪魔になる場合があります。

「この人はこんな人であろう」から始めず、「思い込みかもしれない」と思って相手を見るだけでも、きっと変わってくるでしょう。それが、信頼関係の第1歩となります。

【エピソード1】

ある組織で、定年退職をされて嘱託勤務になった部下を持ったマネージャーが、「今まで、上司だったので、やりにくい。少し指示を出しても、今までの価値観を出してこられてスムーズに指示ができない。やっぱり頭が固いんですよ。」と相談されました。年齢を重ねて経験値が増えると、当然価値観は固まっているのも当然でしょう。しかし、こちらが、そんな思い込み(頭が固いなど)のまま、指示を出しても、きっと、そこに壁を作り、建設的な会話にはなりにくいですね。

「そんな時は、人生の先輩であるという敬意は示しながら、なぜこういった方向性が決まったのか、じっくり誠実に向き合ってみては？」と助言させていただきました。人は、特に下方向のレッテルを張られると、そんな空気は敏感に伝わり、信頼関係を築く方向にはなかなかありません。(当然あまりに上方向のレッテルも本人はつらいものですが)



【エピソード2】ロックンローラーは、だめなやつ?

ずいぶん以前になりますが、ある列車のなかでのこと。乗客は少なく、立っている人がばらばらといるくらい。20歳前後の青年が、黒い皮のジャンパー、派手なズボンをはき、武器のような飾りの付いた靴をはいていました。アクセサリーも不気味に光る銀色で、耳にピアスを数個、眉のピアスマまでして、ちょっと怖いロックンローラーの雰囲気。

彼は思い切り通路に片足を投げ出し、腕を組み、座っていました。揺れる通路を歩けば、乗客が彼の足につまずいて転ぶ危険がありました。

私は、「なんて行儀の悪い、常識がない青年だろう。やっぱりあんな格好をしていると、心まで殺伐とするのかしら」と思いました。ところが、ある駅で、彼が降りようと立ち上がった姿を見て愕然としました。彼は曲がらない足を引きずって、ゆっくり通路を歩いて降りていったのです。

彼は足が不自由だったのです。この彼とは、通りすがりの人だったので、悩みには至りませんが、「行儀の悪い人」というレッテルを貼ったのは、本当に申しわけなかったと、今でも胸が痛みます。

自分の人生のステージ(仕事やプライベート)に登場してくる人には、いろいろな思い込みは一旦脇に置き、過ごしてきた人生に対する敬意や尊い命のある「人」として誠実に向き合いなおしてみるのも、行き詰った時の打開策となると思います。

(参考資料プロコンビジネスノート『自立型支援方法』)

●「自立した人」とは

一人ひとりが自分で考え、壁を乗り越える力を身につけていること。何か問題が生じたとき、他人への責任転嫁(他責)ではなく、つねに当事者意識を持ってあたれること。

上記のような自立した人を育てるには、関わる側の相手と向き合うスタンスが大きく影響するのではないのでしょうか。相手をすべて否定して関わるのは簡単です。しかし、頭から否定し責めてみたところで、相手の本音はなかなか聞こえてくる状況にはなりません。「人」と「行動」を区別し、行動は修正すべきものですが、人は受け入れられるように…。私たちが喜怒哀楽のある人間ですが、自分の作り出したい状況を考えて、自己管理を少しでも進めて行きたいものですね。今回は、スタンスではなくスキルともいえる自立を育てる習慣 NO3 に進みましょう。



オフィスハーモでは、人材育成のための「効果的な研修」を提供しております。参加者の方々のお悩みをすべて取り上げながら現場で役に立ち、結果が出るような仕組みもございますので、お気軽にご連絡ください。

お読みいただきありがとうございました。

今回は、喜田の東京での公開講座のお知らせを同封しています。企業様から呼ばれてお仕事をするのは、おかげさまでたくさん経験しておりますが、私の会社主催は初めてとなります。渾身の力で取り組みますので、どうぞ、会社や組織でお悩みの方、「人を育てる」ことに感心のある方へご案内いただけましたら幸いです。

引き続き、効果的な叱り方についてのDVDを販売しています。少しでも多くの方に知っていただくために、お求めやすい価格ですので、どうぞ、皆さまのお仕事、子育てなどにお役立て下さい。(叱り方検定も是非一度体験してください！内容は即現場で行かせる体験型です)

また、忘れた頃にお届けするような形になるかもしれませんが、またこうして片思いでもご縁が繋がることをうれしく思います。バックナンバーをご希望の方や、万が一ご不要の場合も、下のメッセージシートにご記入いただきFAXいただくか、メール(naho@k.email.ne.jp)をいただけますよう、お願いいたします。お読みいただき、ご意見感想などもいただけましたら、今後に反映していきたいと思っております。いつでもお待ちしております。

感想

お名前	もしよろしければ連絡先を！(mail・FAX・ご住所など)
-----	-------------------------------

ありがとうございました。

～当事者意識と考える力を育てる方法～
研修、講演会のご相談お受けします。
(有)OFFICE HARMO 代表
NPO法人マザーズサポーター協会理事長
喜田菜穂子
naho@k.email.ne.jp 080-4393-4255

